

同窓会・東日本支部便り（第5報）

東日本支部では去る5月29日（日）に2011年度の行事の一つとして「講演会&懇親会」を開催しました。

場所はJR田町駅近くの「キャンパス・イノベーションセンター」であります。東日本大震災から月日もあまり経過しておりませんので、出席者数を懸念していましたが約70名の方々に参加して頂き、盛況でありました。御礼を申し上げます。

当日は午前11時、本川保之支部長の挨拶からスタートしました。

同氏からは大略、次のような挨拶がありました。

『同窓会とは、たとえ学んだ時代は違っていても同じ学校で学んだという不思議な因縁は見知らぬ者どうしを身近な存在として結び付けてしまう魔力を秘めていると思います。本日のこの場を会員相互の公私にわたる有機的な結びつきの場として大いに利用・活用して頂きたい』

そして、ご来賓の代表として碓氷泰市副学長から大学の近況に関してのお話がありました。

引き続き、特別講演はアドバンスト・マテリアル・ジャパン（株）社長の中村繁夫氏から『東日本大震災後のレアメタル市場動向と日本の戦略』の演題で約90分の熱意あふれる講演がありました。

同氏は1974年に農学部大学院・農学研究科卒業ですが、現在では名実共に「レアメタル取引の日本における第一人者」であります。同氏の行動力、交渉力、商売勘、洞察力、タフネスさなどは多くの人から高く評価されているところです。

講演は50枚を超えるPPTを使用しての熱演であり、大変示唆に富みました話を聞くことが出来ました。

「チャイナ・プラス・ワン戦略」の今後、レアメタルから発展する環境ビジネスの将来、そして震災後のパラダイムシフトの必要性など誠に興味深い講演でありました。同社のウェブを一度、ご覧になることをお勧めします。 <http://www.amjc.co.jp>

講演会終了後、懇親会を渡邊修治副学部長の挨拶、引き続き福村徳三郎氏の乾杯の発声により賑やかに行いました。約2時間、同窓生との懐かしい思い出話に花が咲き、最後に「遷喬寮歌」を高らかに歌い、また来年の再会を約して散会しました。

そして、今回新たに発刊しました「じじまの森」創刊号を皆様に配布しました。

当日の様子的一端を添付の写真6枚でご覧ください。